

## 平成 27 年度 実施事業の概要

教育事業名: 妙高ネイチャープログラム指導者養成研修①・スキルアップ研修②
期間 ①平成27年 6月12日(金)～6月14日(日) ①平成27年 1月17日(日) ②平成27年 5月18日(日) ②平成27年 7月2日(水)
対象及び参加人数: 大学生 学校教員 その他 ①6月20名 ①1月15名 ②5月13名 ②7月10名
目的: 環境教育等についての講義・演習や妙高ネイチャープログラムの体験を通して、自然体験の指導者として必要な資質や指導力の習得を目指す。併せて自然の家周辺の自然環境を活用した環境教育や問題解決学習を指導する研修指導員を養成する。 また、有指導資格者に対してのスキルアップ研修(新規)を実施することで、より利用団体のニーズに対応した指導や、各自に指導力向上を図ることをねらいとする。
事業概要: 環境教育等についての講義・演習や妙高ネイチャープログラムの体験を通して、環境教育の指導者として必要な資質や指導力の習得を目指す。併せて自然の家周辺の自然体験を活用した環境教育や問題解決学習を指導する研修指導員を養成する。冬季は、スノーシューハイクを加え、研修の充実を図った。 スキルアップ研修(新規)では、現指導者に対して、新コースの実体験や、源流探検コース整備作業を行った。また、上越理科教育センターと協働し、水生昆虫に詳しい講師を招き、実践的な研修を行った。
成果: 昨年度の実績や反省を踏まえて、妙高ネイチャープログラムの講師依頼や利用ニーズが多い、学校団体の利用を想定して、研修会を企画した。指導者にも、学校の児童生徒の利用を対象とした子供理解に関する内容を研修に含ませたため、研修目的のはっきりとした研修会となった。また、利用者である学校教員と自然体験指導者が同じ受講生として交流をすることとなり、情報交換の場が生まれた。 新設のスキルアップ研修では、利用団体の多様なニーズに対応するために開発した、新源流探検コースについて昨年度に引き続き整備作業を行った。今年度新たに解説した研修では、現場の教員も参加し、水生昆虫調査に特化した研修を実施することができ、コース整備と、教材研修の2本立てで実施することができた。
  
課題: 利用者アンケートでは他のプログラムの受講希望も少なくない。様々な妙高ネイチャープログラムについて、現在は利用頻度の多いプログラムに絞って毎年同じ内容の講習を企画しているが、そのことから、研修内容(研修会で実施するプログラム)について、どのように設定していくか、検討が必要である。 今年度から開催したスキルアップ研修会の、コース整備と教材研修の2本立てはとても好評であった。今後は、特に教材研修に関わる研修について、現場教員、大学生の潜在的なニーズは少なくないと思われることから広報を進めて多くの参加者が得られるようにしていきたい。